

【事業名】 **学ぶ・伝える・広げる、保育士（幼稚園教諭）のための性教育**

【趣旨】 こどもが成長するにつれ、関わる可能性が高まる「ジェンダー」「いじめ」「DV・デートDV」。その火種の大きな要因のひとつは、包み隠さない幼児期からの段階を経た性教育の欠如にあると考える。こどもたちが初めて家族以外の他者と交わる保育園・幼稚園を性教育のスタート地点とし、正しく健やかな性教育の土台づくりを、保育士・幼稚園教諭を旗振り役に進める。また、保育士・幼稚園教諭から保護者へも知識のリレーを行っていく。

課題	カリキュラム自体の受入→知識の定着（意識づけ）→実践→周知 この一連の流れで完成する				
目的	①未就学児への性教育（ジェンダーを含む）の浸透のため、大人が正しい知識を身につける ②現場で起こっている困りごとの掘り起こし				
対象	県内保育園の保育士・県内幼稚園の教諭（ 連合会の研修会 ）		連携先	宮崎県保育連名連合会・宮崎県幼稚園連合会	
	基点・基軸の形成偏見			課題解決	振り返り
目標	男女共同参画推進意識の形成 幼児期の性教育はジェンダーの学びに	現状把握 身の回りの事例を整理する	課題把握・課題共有 事例の共有・共感・発見	課題解決の方策の検討 事例への対処・解決	課題解決のための行動 園での実践・そして家庭へ
内容	【講義（座学）】 ・なぜ幼児期の性教育が必要なのか改めて説く ↓ ↓だからこそ ↓ ・日常（園）の中で気をつけること ・家庭でも注視すること ＊保護者への伝え方にも触れる	【個人ワーク*事前ワーク】 ・性やジェンダーに関して対応に困っていること、疑問に思っていることが書かれたカードを配布。当てはまるもの、類似するものを選ぶ ＊例が書かれたカードはこちらが用意。数は30枚ほど。白紙のカードも用意し書き込めるようにする 〈例〉 ・園児がふざけてお尻を触ってくる ・スカートめくりをする子がいる ・人形遊びをする男の子がからかわれる	【グループワーク】 ・個人ワークで選んだカードの張り出し ↓ ↓近いものはまとめて並べる ↓ ・共感、共有、発見につなげる ↓ ↓グループごとの全体発表 ↓ ・更なる共感・共有、発見につなげる	【グループワーク・講義】 ・グループの発表を受けての講義 ＊対処法や解決策など ・質疑応答	【講義後】 ・学んだことを各々が日常業務の中で実践していく。 ・保護者向けの勉強会を企画する。
方法	講義（50分） ＊終了後10分間の休憩	個人ワーク（事前ワーク）	グループワーク（30分）	まとめ（30分）	アンケートの実施と半年もしくは1年に一度の分科会

継続こそ鍵！

1日で2時間程度の講座（研修）